

6. 基本政策

(1) 産業が輝く笑顔あふれる里の島

- 島しょ部の基幹産業である農業・漁業の振興のため、農道やつき磯[※]の整備など農業・漁業の基盤整備に取り組みます。また、時代に対応した施策として、特産品のブランド化や直販システムの構築など販売ルートの多様化を図り、農業では優良品種への転換や鳥獣害対策等に引き続き取り組むほか、漁業では漁場改善や資源管理型漁業[※]など「つくり育てる漁業」への支援を推進し、力強い農業・漁業の振興を図ります。
さらに、農水産物などの豊富な地域資源を加工し、付加価値を高めた特産品の開発などへの支援を行います。
- 里島の自然景観になじむ観光施設の整備に努めます。また、島びとの日常生活を支える商工業の振興に努めます。
- 里島の次代を担う後継者の育成や就職支援、地域資源を活用した起業家等への支援を行い、島の活性化に取り組む人づくりを推進します。

政策・施策

政策① 活力ある農水産業の振興

施策1 力強い農業の推進

施策2 力強い漁業の推進



カラマンダリン(まつやま農林水産物ブランド)

政策② 地域資源を活かした産業の振興

施策3 魅力ある資源の活用

施策4 夢のある観光産業の推進

施策5 地域を支える商工業の推進



ぼっちゃん島あわび(まつやま農林水産物ブランド)

政策③ 産業を担う人づくり

施策6 島で暮らすための就職支援と人材力の強化

用語解説

つき磯とは……………

海藻類、定着性水産動植物、回遊を伴わない魚類等の増産を図るため、自然石等を浅瀬に投入設置する漁場の改良事業。

資源管理型漁業とは…

漁業資源の維持、また資源の再生産を図るため、増殖礁による幼稚魚の保護育成や有用魚種の放流による資源拡大、漁業者による禁漁期、禁漁区の設定や漁具、漁法の制限等による自主的管理等、その手法は多義にわたる。



(2) 環境が輝く笑顔あふれる里の島

- 海上交通は島と本土を結ぶ唯一の交通手段で、「道路」と同じ意味を持っています。島びとから要望の多い航路維持や運賃、便数の適正化等について、島びとをはじめとする利用者・船会社・行政の協働により、長期的な視点で最適な施策を推進します。また、各島の実情に合った漁港や港湾施設、道路の整備、陸上交通の維持確保等に努め、島びとの生活のみならず産業や観光等の多様な役割を考慮した交通ネットワークの構築を図ります。
- 高潮・浸水・がけ崩れ等の災害に対する安全性の確保や迅速な復旧を行うための最適な基盤整備を図ります。また、消防水利の整備・更新や消防救急艇の施設整備・維持などの消防・救急体制の充実強化及び危険地帯の実態把握や各島の実情に応じた避難所や避難路の確保に努めるとともに、防災危機管理体制の整備を推進します。さらに、島びとの防災・防犯意識を高め、島しょ部ならではのコミュニティを活かした消防団や自主防災組織及び防犯体制の充実を図ります。
- 島しょ部には、瀬戸内の温暖な気候が育んだ美しい豊かな自然環境が残されており、島内外の人々に対する「癒し」の力を秘めています。自然環境との調和に配慮しながら、島での暮らしやすさの向上に向けた社会基盤の整備に取り組みます。また、生物多様性など島しょ部固有の自然環境の保全に努めるとともに、その魅力を伝えるための人材育成やホームページ等を利用した情報発信に取り組みます。さらに、次の世代へ引き継ぐために、耕作放棄地や遊休地等の有効活用について調査研究を行います。
- 行政サービス水準の維持など、利便性の高い居住環境の整備を図ります。島びとの生命の源である水については、良質で安定した給水が可能となるように、水質改善により安全性を確保するとともに簡易水道施設の再構築等により効率化を図ります。また、排水路の整備や合併浄化槽による生活排水対策を推進し、快適な暮らし空間の実現を図ります。
- 島しょ部における高度情報化については、既に整備が完了している地域イントラネット[※]を活用し、民間情報通信サービス事業者等と連携しながら、島びとのブロードバンドの利用を促進します。また、利用者の能力向上を図るための施策の推進により、生活の豊かさや生産活動の効率化を図ります。

用語解説 地域イントラネットとは ……………

地域の教育、行政、福祉、医療、防災などのサービスの高度化を図るため、学校、図書館、公民館、市役所などの公共施設を高速・超高速で接続するネットワークのこと。

政策・施策

政策④ 交通ネットワークの構築

- 施策7 安全で安心な交通ネットワークの基盤整備
- 施策8 島びとの生活を支える交通ネットワークの確保・維持・改善

政策⑤ 安全・安心のまちづくり

- 施策9 災害から市民を守る基盤の整備
- 施策10 消防・救急体制の充実強化
- 施策11 防災・危機管理体制の整備
- 施策12 島びと自らが取り組む防災活動
- 施策13 犯罪の起きにくい環境整備

政策⑥ 環境と調和したまちづくり

- 施策14 心が癒される環境づくりの推進
- 施策15 生物多様性などの自然環境保全及び情報の発信
- 施策16 次代に引き継ぐ土地利用の推進

政策⑦ 快適で人にやさしいまちづくり

- 施策17 快適な暮らし空間の実現
- 施策18 利便性の高い環境整備

政策⑧ 情報化社会に対応したまちづくり

- 施策19 情報通信基盤の利活用



クダコロードからの景色(中島)



島の全景(安居島)



長屋門(睦月島)



島の全景(怒和島)

(3) 地域が輝く笑顔あふれる里の島

- 「しまはく」で生まれた、魅力ある体験メニューの充実や「地産知招」の視点を取り入れた新たな体験メニューの開発を支援します。また、こうした情報の的確な発信により「市民の第二のふるさと」としての認知度を高めるとともに、近隣自治体との広域連携を推進し、交流人口の増加を図ります。また、U・I・Jターン※などによる定住人口の増加を図るため、受け入れ態勢と施設の整備に取り組みます。
- 自分たちのまちは自分たちでつくるという住民自治への機運の高まりを背景に、島びとが主役となれるまちづくりの推進や、各種研修制度等を積極的に活用した島づくりを担う人材の育成を図ります。また、ボランティアやNPOなど、地域に密着した組織の育成や支援を図ります。さらに、お祭りなど各島固有の伝統文化を守り育てる、まちづくり協議会※や町内会などの自治会活動への支援を行い、島びとが地域に愛着や誇りを持って暮らせるまちづくりを推進します。
- 廃校などの未利用施設については、地域経済の活性化や住民福祉の向上、地元雇用の促進につながる有効活用策を検討します。
- 島びと一人一人の人権が尊重され、差別や偏見のない豊かで明るい社会の実現をめざします。また、自分らしい生き方を自由に選択でき、男性、女性がともに喜びを共有し、互いに認め支え合うことによって、笑顔あふれる共同参画社会づくりを推進します。

政策・施策

政策⑨ 交流・連携のまちづくり

施策20 広域交流と連携による定住の推進

施策21 「地産知招」に基づく里島ツーリズム推進による交流人口の拡大

政策⑩ 島びとが主体となったまちづくり

施策22 島びと自らが行うふるさとづくりと人材育成

施策23 個性豊かな地域の伝統文化の伝承支援

政策⑪ 未利用施設を活用したまちづくり

施策24 廃校など未利用施設の活用促進

政策⑫ 参画と協働による人権が尊重されるまちづくり

施策25 人権が尊重されるまちづくり

用語解説

U・I・Jターンとは …………… Uターン:地方から都市へ移住したあと、再び地方へ移住すること。
 Iターン:地方から都市へ、または都市から地方へ移住すること。
 Jターン:地方から大規模な都市へ移住したあと、地方近くの中規模な都市へ移住すること。
 まちづくり協議会とは …………… 地域におけるまちづくりを総合的かつ主体的に担うことを目的とする団体で、自律的な運営が行われるもの。